



学校だより

# たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和 2年 6月25日

## 思えば叶う…夢は叶えるために…

校長 菅原 透



学校再開から1か月が経ちました。県内は感染者ゼロが続き、レベル1に該当しますが、県境移動が可能になり、今後、情勢は変化することも予想されます。それをふまえて、現在の本校経営キーワードは「点に抑える」「線につなぐ」「面に広げる」の3つ。「点に抑える」は感染と不安を広めないこと。「線につなぐ」は、子どものよさを生かし、コーディネートして学習を深め、生活を高めること。「面に広げる」は、新たな日常をあたりまえとする、学校・家庭・地域の連携。いかなる状況にも動ぜず、子どものいのちを守り育てる動きを興し続けます。

先日嬉しいお手紙がメンコちゃんから届きました。一部抜粋でお知らせします。

私に夢ができたんです。それは、小学校の先生です。〇〇先生（担任）や校長先生に出会うまでは、なれるのか不安でした。でも、〇〇先生の優しさ、校長先生の笑顔を見て、私にもなれそう！と思うようになりました。他の先生方にも勇気をもたらしました。いろんな先生のおかげで未来がつくれそうな気がしたんです。本当に感謝しています！！

これからの生活で、私は「あいうえお名人」・「笑顔」・「優しさ」で、下級生をひっぱっていけるような生活をがんばっていきたいです。

感激しました。「出会いが人を創る」と言います。何かしら、子どもの役に立ち、

未来へのきっかけとなれたら最高です。自分なりに大切にしたいことを体現し続けてきた結果として、子ども達が何かを感じ、何かを思い、夢に掲げて前に向かっていくことができたとしたら、これは教師冥利に尽きる！ですね。子どものエネルギーは、この子が表現する、大人の「優しさ」「笑顔」「勇気」なのかもしれません。このことが、地域の大人全体に「面」として広がることを願います。

最近、三日続けて朝のあいさつをできないことがありました。そうしたら「校長先生、なんで朝のあいさつにいないの」とメンコちゃん達から質問が…。校長の朝の出迎えが、“新たな日常”のひとこまになっているならば、こんなに嬉しいことはありません。私こそ、子ども達からいっぱいエネルギーをもらって、学校生活をスタートさせていただいています…。

### = 荒砥小学校のリーダー達 =

計画委員長	紺野 友愛	(敬称略)
計画委員	渡邊 宝	安部 杏華
	川部 聡太	岡本 誠
	平 柚羽	山口 佑真
	志鎌はづき	
集会委員長	安部 心陽	
健康委員長	鈴木ひなた	
放送委員長	中嶋 佑飛	
図書委員長	山川 紗永	
体育委員長	須藤ひより	
ボランティア委員長	藤守 蒼汰	

